

当院では、より良い治療を行うための調査研究 「転移性および術後再発性浸潤性尿路上皮癌患者の予後解析」 を実施しています。

「転移性および術後再発性浸潤性尿路上皮癌患者さんのひとりひとりに最も適した治療方法は何か」を明らかにし、より良い治療法の選択に役立てることを目的として、慶應義塾大学病院との共同で行っています。

これまでの診療記録を集計します。新たな質問や検査の必要はありません。

この調査では、担当者が対象となる方のカルテ（診療記録）を選び、検査の値、その後の経過、特に手術を実施した場合は、いつ手術を実施したかについての記録を集計させていただきます。

調査の対象は、転移を有する浸潤性尿路上皮癌（膀胱癌、尿管癌、腎盂癌のいずれか）や術後再発・転移が認められた浸潤性尿路上皮癌と診断された方一部の方です。

2000年4月1日より2023年3月31日のあいだに、当院で転移を有する浸潤性尿路上皮癌（膀胱癌、尿管癌、腎盂癌のいずれか）や術後再発・転移が認められた浸潤性尿路上皮癌と診断された方患者さんのうちの一部の方を対象としています。

お名前や個人情報がでることは、一切ありません。

収集された資料は、個人を特定できないように処理して、研究責任者 水野隆一 慶應義塾大学泌尿器科のところに集められて解析されます。結果は学会等で公表しますが、必要な情報のみ統計資料として集計しますので、当院外にお名前や個人情報がでることはありません。

研究終了後、収集資料は個人を特定できない形にして保管され、他の研究等に利用される場合があります。その場合は改めて倫理審査を受けます。この研究全体の結果を、研究終了後に、対象者に伝える予定はありません。

ご不明な点がございましたら、下記当院担当科までお問い合わせください。

この調査にご自分の診療記録を使ってほしくない方は、お申し出ください。

この調査へのご自分の診療記録の使用をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。たとえそれが調査期間中であっても、いつでもお断りいただけます。その場合は、2023年3月31日までに、当院泌尿器科担当医にお申し出ください。

連絡先： 済生会横浜市東部病院泌尿器科・担当者名 小林裕章
電話 045-576-3000
内線 (PHS) 9102
住所 〒230-0012 横浜市鶴見区下末吉 3-6-1